

女性協議会第47回定期大会 海野千尋さん講演

柔軟に人生設計を

10月4日（日）に「民放労連女性協議会第四七回定期大会」が行われました。

コロナ禍や首相交代と社会的にも大きな出来事が立て

続く中で迎えた今回の女性協定期大会は、参加してくれた全国の各地連や放送局の皆さんのが、足元の問題や課題を共有し、意見交換を行う有意義な場となりました。

講演には、NPO法人Arrow代表理事、「N女」運営のALT、二枚目の名刺メンバー、ネオ・ファミリースタイル学園（自由大学）キュレーター、

「仕事」や「家族」、そこでの「役割」の固定観念を壊し、自身、家族、組織や企業、社会とともに、個々について熱弁いただきました。

海野さんは、「私は社会課題の当事者である」というテーマで、複数の仕事や役割を持つ人生をデザインすることに至ったきっかけ、それぞれの組織においてどんな社会課題があるかについて熱弁いただきま

した。

には、「雇用主側また被雇用者側にどんな課題があるか」というテーマについても話し合うことができました。属する組織や団体がどうであろう、「そこでどのような貢献をするか」自分はその場所で何を得ているか」「何に価値を置いているか」の軸が大事であることのほか、様々な活動を実現し、共存させるためには、組織やチームメンバーと、特にコンテンツ作りを担う制作部門でのトップが在京在阪局で皆無という問題が指摘されました。各組織、各現場に始まり、組合の執行部、組織の管理職に

れを言い合える関係をそれらの組織の中で作っていくことが重要である、と業種業界を超えたヒントが散りばめられた講演となりました。

議案書の説明



全国から参加のみなさん